

令和元年第2回（6月）

粕屋町議会定例会

令和元年第2回（6月）
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	本田芳枝
2	田川正治
3	太田健策
4	案浦兼敏
5	末若憲治
6	川口晃
7	木村優子
8	福永善之
9	中野敏郎
10	山脇秀隆
11	井上正宏
12	久我純治

通告順 NO. 1 質問者11番 本田芳枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>粕屋町の低投票率について</p>	<p>4月7日に行われた県知事・県議選の投票率は共に38%台と県内でワースト5位に入る数値だった。特に糟屋郡内では足を引っ張る形で下落が続いている。ここ数年、町議選、町長選もまた40%を割っている。ただ、国政選挙については同じではないので、それをヒントに今後の対策を問う。</p> <p>(1) 地域、年代ごとの現状分析とその対策について</p> <p>(2) 今年参議院選において大型商業施設で期日前投票をする予算を組んでいるが、その準備はどのようにしているのか</p> <p>(3) 粕屋町のまちづくりへの関心を高めるための方策は</p>	<p>町長</p>
<p>プラスチックごみリサイクルの考え方について</p>	<p>汚れプラスチックが2021年から規制の対象になる。粕屋町の場合、プラゴミは大牟田リサイクル発電所の燃料としてRDFを作る原料の一部となっているので当面の問題はないように見えるが、今後の世界的な動向、クリーンパークの2027年度以降の状況にも影響が出、規制が強くなる可能性がある。町としても持続可能な地域社会を構築するという観点から何らかの取り組みをする必要があるのではないかと。</p> <p>(1) 汚れプラスチックとは</p> <p>(2) 資源ごみとしてのプラスチック回収の現状は</p> <p>(3) 日常的に使われているレジ袋や、河川に紛れ込んでいるプラゴミ対策等は</p> <p>(4) 喚起を促し、未来を担う子どもたちへの責任をはたす方策を町全体で考える仕組みを問う</p>	<p>町長</p>
<p>ふれあいバスと免許返納について</p>	<p>先日87歳の高齢者が運転する車が横断歩道上で自転車の親子をひき、その命を奪うという痛ましい事故が起きた。高齢者の運転問題については以前より問題とし、質問している。粕屋町ではふれあいバスの予算を増やし土日・祝日運行を実施されるようになり、利便性は高くなり喜ばれているが、あくまでも経過措置である。次の3点を問う。</p> <p>(1) 制度が始まってからの高齢者の免許返納の実績と町の対策について</p> <p>(2) 啓蒙活動はどのようにしているのか。その検証は</p> <p>(3) 予算を増やしたふれあいバスの、高齢者対策としての側面での今年度の動きは</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 2 質問者 8番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>担税能力を超えた高い国保税を引き下げる対策について</p>	<p>(1) 昨年2018年度から開始された国保の広域化（都道府県化）に対して町は今後どのような施策を検討されていますか</p> <p>(2) 保険者努力支援制度では政府が収納率などの成績で予算を重点配分する仕組みや、今後4～5年後には標準保険料率の水準にまで保険税を引き上げていくことに対する対策は</p> <p>(3) 全国知事会、全国市長会、全国町村長会、日本医師会は、国に対して協会けんぽ並みに均等割や平等割を廃止するため1兆円規模の国費投入を要求。町としても国への要求をすべきでは</p> <p>(4) 埼玉県ふじみ野市などは均等割の減免制度を条例化している。粕屋町でも参考にして条例を検討すべきでは</p> <p>(5) 滋賀県野洲市では2016年に税金を滞納した生活困窮者を支援する目的で「暮らし支えあい条例」を制定しています。粕屋町でも参考にして条例化することを検討すべきでは</p>	<p>町長</p>
<p>保育所と幼稚園の待機児童数と、町立の保育所と幼稚園の施設整備の拡充計画について</p>	<p>(1) 待機児童数と年齢別の児童数、待機児童解消の対策は</p> <p>(2) 今まで待機児童は0歳から2歳児が多かったが3歳以上が無償化になれば潜在的な待機児童が増える。3歳児から5歳児の保育料無償化になっても保育所に入所できない子どもへは何も援助がないので消費税10%増税による負担増だけ。この様な子ども間に格差が生まれる事への町の対策は</p> <p>(3) 保育料が無償化になっても給食費だけは個別に支払うことになり、経済的な生活力により支払えない世帯が生まれる。 0歳から2歳児の無償化は住民税非課税世帯だけであり対象以外の世帯は負担が残るがその対策は</p> <p>(4) 待機児童解消のためには町立保育所の施設整備は当然必要だが、保育所の施設の将来構想を見据えて本格的な建て替えを実施すべきだがその計画は</p> <p>(5) 町立幼稚園は昨年度まで定数割れがあったが、今年度の定数に対する入園数と充足率は</p> <p>(6) 待機児童解消のため幼稚園で3歳児保育の施設を拡充することが必要だが町立幼保連携こども園の建設の検討を</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 3 質問者 6番 太田健策

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>平成30年第3回(9月)粕屋町議会定例会の所信表明について</p>	<p>町政運営に関する所信で4つの公約を掲げられました。その所信について質問します。</p> <p>(1) 「子育てしやすいまちづくり」 町内の待機児童を解消するため、保育の受け皿拡大に取り組めます。また老朽化が進む町立保育所は、改修、整備や建て替え等の問題は財源を含め調査検討しますとあるが、現状は</p> <p>(2) 「住みやすいまちづくり」 住民主体の介護予防生活支援事業の充実、地域公共交通と道路や上下水道と同じ暮らしを支える社会基盤の再構築、公共施設の段差のバリアフリー化を推進し、バス停などにベンチを設置し、高齢者や障がい者、妊婦や乳幼児連れの方々にも住みやすいまちづくりを目指しますとあるが、現状は</p> <p>(3) 「誇れるまちづくり」 将来の市制施行を見据え、教育・子育て・福祉行政の充実、農業政策や商工業の振興など自立した基盤の整備の取り組み。「これからも粕屋町に住み続けたい」と思えるような「シビックプライドの醸成」（地域の問題解決に取り組む郷土愛の精神を育むこと）、ランドマークである駕与丁公園の整備、町民花火大会の開催についての取り組み状況は</p> <p>(4) 「安心して生活できるまちづくり」 重要河川の監視体制の充実や、ため池などの内水面の整備は急務となっている。「防災の日の制定」については</p> <p>(5) 4つの公約だけで粕屋町を発展させる事はできるのか、他にやらなければならないことがあると思うが、町長の考えは</p>	<p>町長</p>
<p>粕屋町内における道路について</p>	<p>(1) 粕屋町内には何箇所かの都市計画道路があつて、現在の進捗状況は</p> <p>(2) 県道607号線の渋滞がひどいが、町長の考えは</p> <p>(3) 長者原踏切の渋滞が大変ひどいが、前町長因辰美氏に一般質問したときには、アンダーパスをぜひやりたいと言つてあつたが、町長の考えは</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 4 質問者 3番 案 浦 兼 敏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
市制への取組について	<p>市制への取組について、町長の考えを問う。</p> <p>(1) 現在の人口の伸びからすると、人口が5万人を超えるのはいつ頃になる見込みか</p> <p>(2) 市制を敷いた場合のメリット・デメリットはどのようなものがあるか</p> <p>(3) 若手職員のワーキンググループ「市制塾」での検討状況は</p> <p>(4) 今後の検討の方向性、スケジュールをどう考えているか</p>	町長
商工業の振興と企業の誘致について	<p>商工業の振興と企業の誘致について、町長の考えを問う。</p> <p>(1) 粕屋町の全産業の中で、従業者数・年間販売額など、町への貢献度が高いものは何か</p> <p>(2) 粕屋町の商工業は、小規模経営が多い。町としては、これら中小企業の振興について、どのような施策を行っているのか</p> <p>(3) 町から商店街が消失しつつある。商店街の活性化に向けた取り組みはできないのか</p> <p>(4) 食品関連の企業間の連携により、新たな商品開発の支援はできないか</p> <p>(5) 企業誘致について、どのような企業を、どの地域に誘致する考えか。また、誘致にあたっての条件や優遇措置も検討するのか</p>	町長
粕屋町の広報・広聴機能の充実について	<p>粕屋町の広報・広聴機能の充実について、町長の考えを問う。</p> <p>(1) 町長就任時に言われていた「町に飛び出せ、公務員」で、職員へどのような指導を行っているのか</p> <p>(2) 町長自ら各地域に出向き、町民との意見交換や要望を聞く「こんにちは町長です(案)」の事業を実施してはどうか</p>	町長

通告順 NO. 5 質問者 1番 末 若 憲 治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
災害対策について	<p>(1) 防災対策から減災対策へ 災害をいかに防ぐかという考え方から災害時、被害を どれだけ減らすかという考え方変わった。 粕屋町の減災に対する考え方と現状は ①ハード面 ②ソフト面</p> <p>(2) ①洪水浸水区域見直しに伴うハザードマップの作成状 況は ②上記、見直しに伴い、最寄の公民館や小学校に避難 出来ない地域があるが、その対策は</p> <p>(3) 民間業者（コンビニエンスストア・商業施設・ スーパー・ガソリンスタンドなど）との応援協定の現 状は</p> <p>(4) 平成30年度の自主防災組織の避難訓練などの活動状 況は</p> <p>(5) 小学校校区など、自主防災組織から一步進んだ形の避 難訓練など、今後の状況は</p> <p>(6) 災害時における受援体制にガイダンスの策定の計画予 定は</p>	町 長
学童保育の待機児童解 消に向けた取組みにつ いて	<p>(1) 現在、町が行っている待機児童解消に向けた取組みは</p> <p>(2) 民間学童など、民間を活用した新たな取組みの予定は あるのか</p> <p>(3) 寺子屋事業など、趣旨は違うかもしれないが、現状の 粕屋町の施策を活用した方法はないのか</p> <p>(4) その他、公民館を活用したり、小学校のグラウンドを 活用した習い事の充実を図り、待機児童解消に向けた 取組みは出来ないのか</p>	教育長
児童虐待防止に向けた 取組みについて	<p>(1) 衆議院厚生労働委員会では、5月24日、親による体罰 禁止を明記した児童虐待防止法と児童福祉法の改正案 を全会一致で可決されました。 安倍晋三首相も委員会で、「子どもの命を守ることを 最優先に、児童虐待の根絶にあらゆる手段を尽くす」 と述べられています。</p> <p>① 町長の考えは ② 令和元年度、粕屋町の新たな取組みはあるか ③ 子どもの権利条例の策定などの検討は</p>	町 長

通告順 NO. 6 質問者 7番 川 口 晃

質問事項	質問の要旨	質問の相手
支援のいる児童・生徒の問題について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小学校・中学校での支援学級の増加問題の実態について (2) 周辺町はどのような傾向か (3) 『地域の学校を希望する児童・生徒』、『支援学校を希望する児童・生徒』のあり方について (4) 粕屋中南部に特別支援学校の建設を 	町 長 教育長
地方交付税問題について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新設された『特別法人事業税』とはどういう性格のものか (2) 地方交付税の計算に自治体職員を増やすと交付税が減額されるとかのペナルティーがかけられるのか (3) 他に、町の財政を増加させる方法の模索を 	町 長
J R 福北ゆたか線の駅舎・踏切に関して	<ul style="list-style-type: none"> (1) 柚須駅駅舎の改築と準急化問題の動向について (2) 原町駅は駅の南側に、改札口の設置を (3) 門松駅は駅の北側に、踏切の設置を 	町 長
高齢者・孤独者の問題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 孤独者の現状について、現在調査中の孤独者の数と調査項目はどんなものか (2) 粕屋町の孤独者支援政策の中身は (3) 高齢者支援で、粕屋町として、特筆できる政策は何か 	町 長 教育長

通告順 NO. 7 質問者13番 木村優子

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>ネットを使った課題解決システムの構築を</p>	<p>ネットを使用し、住民と協働での課題解決をめざし、よりよい町づくりを行うために以下を問う。</p> <p>(1) 住民より町内にある問題や課題（例えば道路や公園などの危険箇所）に関して、年間どれくらいの問題や課題等の件数が寄せられているか</p> <p>(2) 無料アプリを使用し、住民の身の回りの困ったことや、危険な道路環境などを少しでも早く対応解決が出来るよう、インターネットを使つての課題解決の方法をどのように考えるか</p>	<p>町長</p>
<p>中高年のひきこもり支援の充実を</p>	<p>注目されている8050問題。80代の親が、ひきこもりの50代の子どもの面倒をみる現象を指す。この支援が急務と考え、以下を問う。</p> <p>(1) 中高年のひきこもりに対する粕屋町の現状把握は出来ているか</p> <p>(2) 町が現在行っている支援はあるか</p> <p>(3) 厚生労働省は、平成21年度から「ひきこもり対策推進事業」を創設し、平成30年度からは、生活困窮者自立支援制度との連携を強化し、訪問支援等の取り組みを含めた手厚い支援を充実させるとともに、ひきこもり地域支援センターのバックアップ機能等の強化を図っている。 町としてひきこもり対策をどのように推進していくのか</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 8 質問者 9番 福永善之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
10連休期間中の保育ニーズ調査に関して	<p>先の3月定例会において、私は認可保育所に園児を持つ保護者の保育ニーズに関する質問をしました。 子ども未来課長からは、各園には声が上がっていない、との答弁でした。 議会だより3月号を読まれた、ある保護者（匿名希望）から切実なメールを受領しました（4/26付）。 なお、参考までに、近隣の古賀市は、この期間中、4月30日・5月1日・2日の3日間市内の認可保育所3園で休日特別保育を実施したようです。</p> <p>(1) 同期間中の保育ニーズ調査は、どのようになされたのですか</p> <p>(2) 行政として、行政サービスの利用者の声を受け付ける手順に不備は考えられませんか</p> <p>(3) 今後、大型連休等、特別な休日が発生した場合、行政としてどのような対応を考えてありますか</p>	町長
修学旅行中の教職員の昼間の飲酒に関して	<p>今年1月の粕屋中学校の修学旅行に引率した教職員2名（校長と教務主幹）が勤務時間中の昼間に飲酒した事案が4月にマスコミ報道で発覚しました。 5月24日（金）に教育長及び学校教育課から同議会に対し、現在、校長は自宅待機中、主幹教諭は学年主任及び技術教員の不足により勤務継続中、との説明がありました。 また、教職員の人事権のある福岡県教育委員会が6月を目途に処分を発表するだろう、との進捗状況の報告を受けました。</p> <p>(1) 校長、及び、主幹教諭の修学旅行費用は、自己負担ですか、それとも、公費負担ですか</p> <p>(2) 勤務時間中の昼間に飲酒をしたことは該当者も認めているようですが、その費用は、自己負担ですか、それとも公費負担ですか</p> <p>(3) 福岡県の教職員の懲戒処分の基準には、修学旅行中の飲酒に関することは明文化されていません。 参考までに、京都府は、明文化されています。 この度の該当者は、修学旅行中の昼間が勤務時間だという認識はありましたか</p> <p>(4) 以前にも、他都道府県の教職員による修学旅行中の飲酒が発覚し、戒告の懲戒処分の事例がありました。 この度の該当者は、この事例を認識していましたか</p> <p>(5) 今後、粕屋町教育委員会として再発防止策は考えてありますか</p>	教育長

<p>随意契約に関して (一般廃棄物収集運搬業務の委託契約)</p>	<p>粕屋町は、一般廃棄物の収集運搬業務を2社に限定し、長年にわたり、1年更新の契約書を締結し、随意契約として発注している。</p> <p>随意契約にあたっては、この種の契約は、競争入札に適さない、とあります。</p> <p>(1) 糟屋郡町村会と古賀市は、平成10年から4年間、粕屋清掃事業協同組合と一般廃棄物収集運搬手数料の決定に関する覚書を締結している。 単価は、1,080円/世帯(税抜き)である。 平成30年度の単価も同じ金額ですが、この単価が平成14年4月以降も据え置かれた理由は何ですか</p> <p>(2) この料金設定では、世帯が増えるほど、マンション等の集合住宅が多いほど、また、自治体の面積が狭く人口密度が高いほど、業者には利益面・コスト面で有利に働くと考えられます。 粕屋町は志免町に次ぐ人口密度の高い自治体であり、人口は増加傾向にあります。 単価設定は妥当でしょうか</p> <p>(3) 長年にわたり同じ業者への発注が続いていますが、業者が廃業しない限り、また、問題を起こさない限り、今後も永久に発注が続いていくのでしょうか</p> <p>(4) 業者にとって、この事業への最大の投資は、パッカー車の購入です。 パッカー車の原価償却は、約5～7年と考えられています。 パッカー車の減価償却と合わせた年数での委託契約、及び、競争入札にする考えはありますか</p>	<p>町 長</p>
--	--	------------

通告順 NO.9 質問者 5番 中野敏郎

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>昨年12月議会に予告紹介をしていました『ドーナツ経済学が世界を救う』、それに追加して、内田樹の著書『ローカリズム宣言』『人口減少社会の未来学』等の著書を基にして質問いたします</p>	<p>(1) 近年報道が途切れることのない異常気象、環境悪化、海洋汚染（プラスチックごみ）、農地の減少、水不足等々。これらを後押しするあくなき経済成長の追求。そして、グローバリズムという波から逃れることのできない世界規模での動き。 そのグローバリズムの対極として、ローカルな粕屋町だからこそ今やれること、やらなければならないことは</p> <p>(2) 2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は粕屋町政にどのような影響を与えたのでしょうか、また、これからどう活かしていくべきと考えますか</p> <p>(3) 町長が取材を受けられたデータ・マックスの記事にある、「開発の余地」とはどのような捉えなのでしょう</p> <p>(4) 福岡県は幸福度NO.1を推進しておりました。また、幸福＝財÷欲望という数式があるようですが、これらの意味するところは</p>	<p>町長</p>
<p>男女共同参画という観点から質問します</p>	<p>(1) 男女共同参画が計画された背景、基本理念、そして総合計画における目標値は</p> <p>(2) 人権擁護委員の男女共同参画格差はなぜついたのか</p> <p>(3) 学校現場での男女共同参画意識として、近隣市町小中学校の男女混合名簿実施状況は</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p>

通告順 NO. 10 質問者14番 山 脇 秀 隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>教育の無償化について</p>	<p>幼児教育・保育を無償化する改正こども・子育て支援法と、低所得者世帯を対象に大学など高等教育を無償化する大学等支援法が参議院本会議でそれぞれ自民公明の与党などの賛成多数で可決、成立しました。幼保無償化は、10月から、大学無償化は来年4月からそれぞれ始まります。今回は、幼保無償化について聞きます。</p> <p>(1) 概要を聞く</p> <p>(2) 粕屋町の対象者数と待機児童数</p> <p>(3) 待機児童解消の方策</p> <p>(4) 保育士や幼稚園教諭の人材確保は</p> <p>(5) 施設整備計画を聞く</p> <p>(6) 10月開始までの町の取り組みを聞く</p> <p>a 保護者の手続きはいるのか</p> <p>b 保護者への周知はどのように</p> <p>c 人件費や通信費などの予算措置は</p> <p>d 給食費の徴収方法は</p>	<p>町 長</p>
<p>消防団員の運転免許について</p>	<p>平成17年道路交通法改正による普通免許証で運転できる車の範囲が変わりました。平成29年より施行されています。平成19年6月以降に免許を取得した場合、3.5トン以上の車両等が制限され、消防団の消防自動車を運転するには、準普通免許が必要です。</p> <p>(1) 対象となる団員の数を聞く</p> <p>(2) 対象となる消防自動車は</p> <p>(3) 今後の対策を聞く</p> <p>(4) 準普通免許取得の補助を考える</p>	<p>町 長</p>

通告順 NO. 11 質問者 2番 井上正宏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
市制塾について	<p>(1) 市制塾とは何か</p> <p>(2) 市制塾の構成メンバー（人数、年令、男女の比率）は</p> <p>(3) 市制塾の目的と役割は</p>	町長
福岡市営地下鉄福岡空港と福北ゆたか線JR長者原駅の接続について	<p>(1) 粕屋町においてこれまでどのような検討がなされて、どのような動きがあったのか、具体的にお答えください</p> <p>(2) 粕屋町以外の自治体との今後の連携はお考えでしょうか</p> <p>(3) 当然、粕屋町が起点になると確信しておりますが町長から担当部署の都市計画課への具体的な指示は</p>	町長
子ども議会について	<p>子ども議会は、小学校等の児童や中学校、高校等の生徒を対象として行われる地方公共団体の模擬議会である。粕屋町でも平成28年1月と平成29年1月に開催され児童や生徒が議場で行政執行部に一般質問をした。アンケート結果でも好評で、今後も続けてほしいが約9割であったがその後、子ども議会は小学6年生と議会の議場内交流会と変更となった。</p> <p>(1) 子ども議会における町長の見解は</p> <p>(2) 子ども議会は、議会が行うものだと執行部は考えているようだが今後も行政の協力は得られないのか</p>	町長 教育長

通告順 NO. 12 質問者10番 久我純治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>駕与丁公園について</p>	<p>下記について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 桜の木の植樹について (2) 水鳥観察小屋について (3) 八ツ橋・木のガードレールについて (4) 駕与丁踏切横駐車場の壊れたフェンスについて (5) 元ホテル小屋について (6) 球場横の酒殿区の墓地について (7) 管理棟のカフェ化は (8) 水鳥橋について 	<p>町長</p>
<p>国鉄志免炭鉱ボタ山開発について</p>	<p>福岡県立特別支援学校の誘致を問う</p>	<p>町長</p>